

●平成29年度市の取組実績一覧表（取組順）

望ましい環境像：人と自然が共生し 地球にやさしいまち いなざわ

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標 I 未来につながる「地球温暖化の防止」	(1) 地球温暖化の防止	1) 地球温暖化防止対策の推進	● 地球温暖化対策実行計画の進捗管理	1	◎地球温暖化対策実行計画の進行管理を行った。 平成17年度温室効果ガス排出量 (基準年度) 26,940t-CO ₂ 20%削減が目標 平成29年度 24,648t-CO ₂ 基準年対比 8.5% 減	未達成	43	環境保全課
			● 公用車への低公害車や低燃費車の導入	2	◎低燃費、低排出ガス車を購入。 実績 ・軽貨物自動車2台 ・小型貨物自動車1台 ・小型乗用自動車1台 (計4台 6,385千円)	達成	43	財政課
			● 公用車の使用抑制やエコドライブの推進による燃料使用量の削減	3	◎アイドリングストップの実施、急発進・急加速の抑制、エアコンの使用を控え目にし、エコドライブを推進した。 燃料使用量 ガソリン(目標)95,963ℓ (実績) 94,514ℓ 軽油(目標) 46,478ℓ (実績) 47,660ℓ LPG(目標) 1,052kg (実績) 0kg	達成	43	環境保全課
				3-1	◎文書を配布する際には、出来る限り「メール便」の活用を努めた。 近距離の移動時は公用車の使用を自粛し、公用車使用時にはエコドライブに努めた。	達成	43	企画政策課
			● 低公害車や低燃費車の購入や使用の啓発	4	◎愛知県などより情報提供を受け、市民にはパンフレットなどにより情報提供した。	達成	43	環境保全課
			● 徒歩や自転車の利用、自動車の相乗りなどの普及・啓発	5	◎環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画をホームページに掲載し、啓発した。	達成	43	環境保全課
			● 環境家計簿の普及、省エネルギーに関する情報提供	6	◎消費生活展において、環境家計簿やパンフレットを配布して地球温暖化防止の啓発を行った。	達成	43	環境保全課
			● 地球環境問題に関する情報収集と提供	7	◎消費生活展等やイベントにおいてパンフレットを配布するなど啓発を行った。また、広報掲載等により情報提供に努めた。	達成	43	環境保全課
			● 新エネルギー導入の情報提供や啓発	8	◎愛知県などより情報提供を受け、市民にはパンフレットやパンフレットなどにより情報提供に努めた。	達成	43	環境保全課
			● 家庭用燃料電池の普及啓発や補助金制度の確立	9	◎家庭用燃料電池システム設置費補助金 補助実績28基1,400千円	達成	43	環境保全課
	● 住宅用リチウムイオン蓄電池の普及啓発や補助金制度の確立	9-2	◎住宅用リチウムイオン蓄電システム設置費補助金 補助実績 38件 1,900千円	達成	43	環境保全課		
	(2) 省資源・省エネルギー化の推進	1) エコライフの推進	● 省資源・省エネルギーに関する普及・啓発	10	◎未実施。(中小企業への環境対策講習会開催H26～年2回が目標)	未達成	44	環境保全課
			● 家庭や事業所などの省資源・省エネルギーに関する設備資金の融資などの情報提供	12	◎広報、ホームページ等により太陽光発電システム設置費補助制度等の啓発を図った。 広報掲載 (4月)	達成	44	環境保全課
			● 事業所などへの省エネルギー対策などの情報提供	14	◎省エネ関係について、関係機関等の作成したパンフレットと共に環境センター窓口等に備え、市民へ情報の提供、PRに努めた。	達成	44	環境保全課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課	
環境目標 I 未来につながる「地球温暖化の防止」	(2) 省資源・省エネルギー化の推進	1) エコライフの推進	● 冷暖房の使用時間・時期の短縮、設定温度の適正化(冷房28℃、暖房19℃程度)	15	◎冷房は6月～10月上旬、暖房は12月～3月。使用時間は午前8時30分～午後5時、冷房温度28℃、暖房温度19℃とした。	達成	44	財政課	
				16	◎冷房(6/15～9/15) 28℃設定、暖房(12/1～3/31) 18℃以下、利用する部屋・時間のみ冷暖房を使用した。(環境改善センター)	達成	44	農務課	
			● 冷暖房の使用時間・時期の短縮、設定温度の適正化(冷房28℃、暖房19℃程度)	16-1	◎事業の開始時間に合わせて、冷暖房のスイッチを入れるようにし、事業が終了したら、すぐにスイッチを切るように職員に周知し、実践した。 ・夏場に冷房が必要な時期は、冷房する前に窓を開けて風を通してからスイッチを入れるようにするよう職員に周知し、実践した。 ・H29年度冷暖房稼働日数160日(H22年度比較-5日)。 ・事業利用者に負担がかからないよう配慮する必要がある。	達成	44	健康推進課	
			● クールビズ・ウォームビズの実施や啓発	17	◎クールビズ・ウォームビズについて情報提供を行った。	達成	44	環境保全課	
			● 照明、機器、事務用品の使用の合理化	18	◎共通物品(消耗品)の再利用 ・対象品目 ゼムクリップ・ダブルクリップ・綴り紐の3品目	達成	44	会計課	
			● 照明、機器、事務用品の使用の合理化	18-1	◎昼休み時の消灯の実施、長時間離席する際のパソコンの電源OFFを実施した。	達成	44	農務課	
				18-2	◎未使用時(昼休憩時等)の照明は支障のない範囲で消灯し、パソコン(主にディスプレイ)のスイッチオフにも努めた。	達成	44	企画政策課	
			● 高効率照明(LED等)への切り替え	18-3	対象となる照明器具に球切れ等が発生せず、切り替え器具はなかった。	—	44	財政課	
				18-4	◎国府宮駅、稲沢駅のLED化の検討を行った。平成30年度実施予定。	達成	44	用地管理課	
			● 建物の屋上緑化対策の啓発	19	◎該当なし。	—	44	建築課	
		● 省エネ法に基づく中長期計画書の策定	19-1	◎各課からの報告を取りまとめ関係省庁へ報告した。	達成	44	環境保全課		
		2) グリーン購入の推進	● 公用車への低公害車や低燃費車の導入	20	◎低燃費、低排出ガス車を購入。 実績 ・軽貨物自動車2台 ・小型貨物自動車1台 ・小型乗用自動車1台 (計4台 6,385千円)	達成	46	財政課	
				● 環境にやさしい消費者意識の向上に向けたグリーン購入の推奨	21	◎職員に入札、見積通知及び発注時にグリーン購入の協力を求めた。事務用品等のグリーン購入を進めた。 ・事務用品等のグリーン購入 ゴム印・回転印 5千円 のり 1千円 付箋等 6千円 製本テープ 22千円 ペン等 2千円 キングファイル 8千円 中性紙(ほか) 5千円 計 49千円	達成	46	契約検査課
					22	◎事務事業用品の購入に際してはグリーン購入を推進した。実績値 99.8%	達成	46	環境保全課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課	
環境目標Ⅱ 環境にやさしい循環型社会の構築	(1) 自然エネルギーの適正利用	1) 自然エネルギーの利用促進	● 公共施設における太陽光発電・太陽熱利用施設などの導入	23	◎太陽熱発電システムを整備した。 ・太陽光発電システム 【実績値】 年間発電量:21.842kW 年間二酸化炭素排出削減量:11.18t-CO2 【達成度】 年間発電量:122% 年間二酸化炭素排出削減量:113%	達成	48	財政課	
				24	◎該当なし。	—	48	建築課	
			26	◎太陽光発電や太陽熱利用など自然エネルギー利用に関する補助制度について、市広報・ホームページなどに掲載し、また関係機関等が作成したチラシ、パンフレットを環境センター等の窓口で配布・提供した。 広報掲載 1回(4月)	達成	48	環境保全課		
		27	◎住宅用太陽光発電システム設置費補助金を交付した。補助件数 149件 補助金額 11,332千円 719.57kW(1件 当り4.83kW)	未達成	48	環境保全課			
		2) 雨水などの有効利用	● 家庭や事業所などにおける節水意識の啓発	28	◎事業所における節水に配慮した設備等の導入や、工場排水等の再利用に関する情報収集には至らなかった。	未達成	49	商工観光課	
				29	◎省エネ、地球温暖化防止、地盤沈下などの問題も含め、有限である大切な自然資源の有効活用を周知、啓発した。省エネ関係について、関係機関等の作成したパンフレットと共に環境センター窓口等に備え、市民へ情報の提供、PRに努めた。	達成	49	環境保全課	
			● 家庭や事業所などにおける節水コマの取り付けや雨水の有効利用の促進	30	◎節水PRをホームページに(6月1日から6月7日)掲載、5月31日から6月8日水道庁舎・市役所・支所・市民センターに啓発看板を設置し、6月1日公用車にてスピーカーでの節水を広報PR。 10月15日消費生活展で、来場者に節水PRチラシを配布した。	達成	49	水道業務課	
				32	◎地下水の適正利用の啓発	達成	49	環境保全課	
				33	◎他課との調整及び調査研究の結果、浄化槽を改造した雨水貯留施設の設置促進の検討	達成	49	下水道課	
			(2) 廃棄物の発生抑制と適正処理	1) 廃棄物の減量化とリサイクルの推進	● 「3R」活動(リデュースReduce:排出抑制、リユースReuse:再使用、リサイクルRecycle:再生利用)の推進	34	◎廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ減量及びリサイクル推進施策を実施した。1人1日当たりのごみの量 513g 前年度比100.4%、リサイクル率 19.6% 前年比 95.6%	未達成	51
	35					◎焼却灰の資源化 灰溶融 0t、灰焙焼 493t	達成	51	環境施設課
	36	資源とごみの分別辞典については、引き続き転入者を中心に配布した。2月にはプラスチック製容器包装の分別・スプレー缶の出し方に関するチラシを全戸配布し、より効果的な啓発を行った。				達成	51	資源対策課	
	37	◎段ボールコンポスト講座の開催1回(2日間) 講座資機材 42,840円、消費生活展への参加、出前講座 3回、環境センターロビーを活用した啓発(継続実施)、環境センター見学ごみ減量教室1回、エコ料理教室の開催2回実施 材料費 34,044円				達成	51	資源対策課	

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅱ 環境にやさしい循環型社会の構築	(2)廃棄物の発生抑制と適正処理	1) 廃棄物の減量化とリサイクルの推進	● 地域及び各種団体によるリサイクル資源回収の支援	38	◎集団回収登録団体の拡大を図り広報に加え、市子ども会連合会、小中学校・PTA、保育園・父母会に文書により事業周知を行った。 決算額(奨励金) 11,050,688円	達成	51	資源対策課
			● 生ごみ処理機購入助成制度などの利用促進	39	◎電動生ごみ処理機等購入費補助、H29年度 70基384,400円 補助金交付申請の制度内容を変更したため、平成30年3月に要綱改正をした。	達成	51	資源対策課
			● 事業所におけるごみの減量化や再利用の普及・啓発	40	◎大型店出店時に法手続きの中で廃棄物排出抑制や資源の分別に関し報告を求める中で、廃棄物の適正処理を促した。	達成	51	商工観光課
				41	◎ホームページ等にてごみ減量を周知したことから、事業系ごみが軽減した。許可業者の搬入時の検査も行い、不適正なごみの搬入を抑制した。 H29 150g 前年度比 96.8%	達成	51	資源対策課
			● レジ袋有料化・ポイント制などの導入・普及によるマイバッグ持参運動の推進	42	◎稲沢市商店街連合会で取り組むマイバック持参へのポイント付与事業を推奨し、小売店等におけるレジ袋削減を啓発した。	達成	51	商工観光課
				43	◎1.レジ袋削減取組参加事業者 平成24年度以降事業者のレジ袋の有料化を取り止めが続いており、削減取組みの参加事業者へのインセンティブが課題となっている。 2.エコショップ認定制度見直し検討制度の有効性を高める検討は進まなかった。 ホームページでのレジ袋削減啓発に加え、消費生活展の中でエコバッグを配布し、レジ袋削減の取組を実施した。	達成	51	資源対策課
			● 使い捨て商品の製造・販売や過剰包装の自粛などの普及・啓発	44	◎使い捨て商品、過剰包装の自粛等について、先進的な取組を行う商店街の情報収集には至らなかった。	未達成	51	商工観光課
				45	◎1.広報等による普及啓発 広報や電光掲示板でリデュースを啓発 2.事業所への協力依頼 レジ袋削減協定を通して企業に働きかけた。	達成	51	資源対策課
			● ごみ減量化に関する標語・ポスターの公募などによる意識啓発	46	◎市内小中学校の協力を得て、環境省主催の3R推進ポスターの募集事業に協力した。	達成	51	資源対策課
			● 常設資源回収ステーションの設置の検討	47	◎市内10か所の会場で地域ステーションを実施し、市役所ほかの公共施設において使用済み乾電池、天ぷら油・小型家電の回収を実施した。なお、平成28年度に環境センターにおいてリサイクル資源の回収を開始したが、拠点回収のさらなる拡大については、今後も引き続き研究していく。上記の品目に加え、平成30年度から使用済水銀製品の回収をすることを決定した。	達成	51	資源対策課
● 各種リサイクル法に基づくリサイクルの促進	48	◎国、県の方針に沿い、各種リサイクル法に基づきリサイクルが促進するようPRを行った。 小型家電リサイクルは、合計12カ所でボックス回収を実施した。また、東京2020組織委員会が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」にも賛同したことから、宅配回収に係るチラシを全戸配布し、回収拡大を図った。	達成	51	資源対策課			

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課	
環境目標Ⅱ 環境にやさしい循環型社会の構築	(2)廃棄物の発生抑制と適正処理	1) 廃棄物の減量化とリサイクルの推進	● 不用品紹介制度によるごみの減量、再利用の促進	49	◎1.不用品紹介制度については、申し込み及びPR方法を変更したことから平成29年9月に不用品制度の要綱を改正した。 2.粗大ごみリユース事業は、事業効果を勘案し、昨年度に引き続き、実施を見合わせた。	達成	51	資源対策課	
				50	◎リサイクル協力店などの情報収集には至らなかった。	未達成	51	商工観光課	
				51	◎ホームページでのレジ袋削減啓発に加え、消費生活展の中でエコバッグを配布し、レジ袋削減の取組を実施した。	達成	51	資源対策課	
				52	◎環境マネジメントシステムによる取組みのもとに環境配慮製品であるグリーン商品の利用促進に努めた。 グリーン購入割合 99.8%	達成	51	環境保全課	
				● 公共工事における建設発生土の資源化・再利用の推進	53	◎工事発注に提供する情報交換システムの活用。農務課で発注した工事4件のうち2件埋戻し材として活用した。	達成	51	農務課
					54	◎施工計画書により処分計画を確認しリサイクルに努めた。道路、交通安全・橋梁工事 116件 河川工事 29件	達成	51	土木課
					55	◎工事の設計、積算段階において、ガイドラインに従い建設副産物の発生抑制、再利用、減量化に努めるとともに請負業者に対し、再生品の使用に努めるよう指導した。	達成	51	都市整備課
					56	◎建設発生土を埋戻し土に極力、再利用し、資源の有効活用に努めている。	達成	51	都市整備課
					57	◎平成29年度工事において再生砕石ほか再生材料を使用する旨指導し、適正に施工した。	達成	51	建築課
					58	◎リサイクル資材の率先利用に努めた。(路盤材、舗装材、管材、砂基礎等)	達成	51	下水道課
		59	◎再生資源利用促進計画に基づいて水道工事を実施した。100%		達成	51	水道工務課		
		2) 廃棄物の適正処理	● 有害ごみの適正な回収体制の整備	60	◎使用済み乾電池について、引き続き資源化を行った。また、新たに使用済水銀製品の回収を決定した。 ※対象品目は血圧計、体温計、水温計に限る。 決算額 廃乾電池処分委託料 3,145,278円	達成	52	資源対策課	
				61	◎1. 広報いなざわ 特集記事は未掲載。適時制度紹介等を行った。 2. ホームページ ごみの分別、収集日程を掲載し、必要に応じ記事・新着情報等を随時掲載した。 3. ケーブルテレビ ふれあい通信にてPR番組を2回実施した。 4. 電光掲示板 国府宮駅設置の電光掲示板でごみ減量を啓発した。	達成	52	資源対策課	

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅱ 環境にやさしい循環型社会の構築	(2) 廃棄物の発生抑制と適正処理	2) 廃棄物の適正処理	● 空き地などへの不法投棄の監視体制の強化	62	1. 不法投棄撤去及びパトロール 適時の撤去については、各施設を管理する所管部署にて実施した。 2. 事業所のさわやか隊参加協力を呼びかけ、抑止力の強化を図った。 3. 環境委員、区長等による監視により、不法投棄を低減した。 4. 監視カメラの貸出しにより、不法投棄の抑制を行った。	達成	52	資源対策課
			● 家電リサイクル法に基づく廃家電品の適切な処理の普及・啓発	63	◎1. 小売店へ引取りに関しては、排出者に情報提供した。 2. 分別辞典に加え、ごみカレンダーにも具体的な処理手法を示し、家電リサイクルによる適正処理の啓発を進めた。 3. 義務外品の回収について、市による回収をPRし、排出手段の多様化により適正処理を推進した。	達成	52	資源対策課
			● 資源有効利用促進法に基づくパソコンの適正な処理の普及・啓発	64	◎1. 小型家電リサイクル法による処理を進めるため、環境センターへの持込みによる資源化を行った。 2. パソコンを中心とした小型家電について宅配回収を推進した。 3. 無料の宅配回収を進めるだけでなく、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」にも参加することとした。	達成	52	資源対策課
			● 建設廃棄物の適正処理に向けた指導・啓発	65	◎建設リサイクル法に基づく届出書 272件	達成	52	建築課
			● 平和浄化センター(旧平和処理場)におけるし尿及び浄化槽汚泥の適切な処理の推進	66	◎施設修繕計画に沿った維持管理の推進を図った。(27,424千円)また、収集運搬許可業者に口頭指導等を行った。	達成	52	環境施設課
			● フロンの適正な回収処理についての普及・啓発	67	◎ 該当なし。	—	52	土木課
環境目標Ⅲ 人と自然がふれあえる都市の実現	(1) 豊かな自然環境の保全・創出	1) 水辺の保全・育成	● 木曾川周辺の自然環境を保全するとともに、余暇活動や自然とのふれあいの場所としての利用促進	68	◎全小学校にパンフレットにより自然観察会参加を呼びかけた。広報・HPにも案内を掲載するとともにフェイスブックに報告を掲載した。	達成	54	環境保全課
			● 農業用排水路における多様な生物の生息空間の保全	69	◎県営土地改良事業および水路改修事業等において環境に配慮した施設を設置した。	達成	54	農務課
			● 多様な生物の生息環境に配慮した河川整備の推進	70	◎実施工事なし。	—	54	土木課
		2) 農地の保全・育成	● 農地周辺の用水路やあぜ、土手などの多様な生物の生息空間の保全	71	◎県営土地改良事業および水路改修事業等において環境に配慮した施設を設置した。	達成	55	農務課
			● 公益的な環境保全機能を有する優良な農地の保全	72	◎農用地面積(青地) 総面積 3,032ha → 3,015ha 平成19年度より190ha減	未達成	55	農務課
			● 良好な環境が残されている植木・苗木の生産地の保全・育成	73	◎農用地面積(青地) 総面積 3,032ha → 3,015ha 平成19年度より190ha減	未達成	55	農務課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅲ 人と自然がふれあえる都市の実現	(1) 豊かな自然環境の保全・創出	2) 農地の保全・育成	● 農業で発生する廃プラスチックの回収・処理体制の整備	74	◎9月5・15日 JA南部支店、9月6・13日 JA一色下方カントリーエレベーターで実施。 廃ビニール 25,098kg 廃ポリ 14,543kg 廃プラ 50.8㎡ 農業用廃プラスチック処理事業補助金 731,497円	達成	55	農務課
			● 適正な農薬の使用や化学肥料を減らした農業生産などの促進	75	◎減農薬、有機肥料栽培の特別栽培米の栽培面積 170,653㎡	達成	55	農務課
			● 耕作放棄地の解消に向けた啓発	76	◎はつらつ農業塾開校 7月26日入塾式 担い手育成コース 1人、生きがい農業コース 41人	達成	55	農務課
			● 農業基盤と一体的な生活環境の整備・管理	77	H23年度事業終了	—	55	農務課
		3) 多様な生態系の保全・創出	● 市内に点在する社寺林や屋敷林などの保全の促進	78	◎保存樹・保存樹林について、適正に管理されているものについて、所有者及び管理者に対し補助金の交付を行った。 保存樹林 118箇所、保存樹 186本 補助金 869,000円	達成	56	都市整備課
			● 学校などにおける多様な生物が生育・生息するビオトープ作りなどの推進・創出	79	◎総合的な学習の時間 身近な環境について考える機会をもち、よりよい環境づくりや環境保全に取り組む態度の育成 ・理科 身近な自然の観察や環境学習への活用。 ・特別活動 木曾川の水質調査や木曾川クリーンアップ作戦等の実施。	達成	56	学校教育課
				79-1	H22年度事業終了	—	56	農務課
			● ホタルなどの身近な動植物の生育・生息状況などに関する調査などの検討	80	◎NPO法人「祖父江のホタルを守る会」に補助金を交付して活動支援を行い、同団体から情報提供を受けて実態の把握に努めた。	達成	56	環境保全課
			● 生物多様性地域戦略の検討	80-1	◎他市町の活動状況について、情報収集して研究を行った。尾張西部生態系ネットワークの幹事となり会議に参加した。生物多様性地域戦略について、たたき台(案)を作成した。	達成	56	環境保全課
			● 河川堤防を活用した遊歩道の整備、水辺が感じられる環境づくりの実施	81	H26年度事業終了	—	58	農務課
	● 水に親しむ場としての親水公園、遊歩道の整備		82	H23年度事業終了	—	58	農務課	
	(2) 人と自然とのふれあいの確保	1) ふれあいの場づくり	● 親水機能や景観に配慮した農業用排水路などの保全・整備	83	◎県営土地改良事業および水路改修事業等において環境に配慮した施設を設置した。	達成	58	農務課
			● 稲沢公園内の芝生広場、樹林、散策路、池などの適正な維持管理	85	◎委託業務仕様書に基づき施工計画を立て、適正に管理を行った。維持管理費 18,893千円	達成	58	都市整備課
			● 稲沢公園を活用した市民交流の推進	86	◎1年を通し、5団体がグランドゴルフを行っている。	達成	58	都市整備課
			● 国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザ、県営木曾川祖父江緑地及び祖父江ワイルドネイチャー緑地を活用した市民交流や広域レクリエーションの利用促進	87	◎実績なし。	—	58	都市整備課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅲ 人と自然がふれあえる都市の実現	(2)人と自然とのふれあいの確保	1) ふれあいの場づくり	● いちよう並木、日光川・須ヶ谷川桜づつみなど(桜ネックレス)、地域に根差した散策路の適正な維持	88	◎歩行者が快適に散策できるように適正な管理を行った。 ・維持管理費 37,445千円	達成	58	都市整備課
			● 自然観察会、水生生物調査などの自然を学ぶ体験事業の実施	89	◎環境学習会(自然観察会)を開催。5月20日(土)7月22日(土)8月5日(土)10月7日(土)の4回 参加者 親子48組 158人 事業費93,000円 広報、小学校へのチラシ配布で、PRした。	達成	59	環境保全課
				90	◎親子ふれあい教室理科教室年2回のうち1回で自然を学ぶ体験事業を実施した。 ◎7月27日実施 小学生とその親13組27人参加	達成	59	生涯学習課
環境目標Ⅳ 豊かな風土を育む快適な環境の創造	(1)快適な住環境の創造	1) 公園などの整備と緑化の推進	● 市民の憩いの場や市街地におけるオープンスペースとなる都市公園などの整備	91	◎関係課と連携を図りながら都市公園の整備を進めた。 ・街区公園 実施設計業務委託 3,748千円 整備工事費 66,090千円	達成	61	都市整備課
			● 市民参画による地域のニーズに沿った施設整備と維持・管理の推進	92	◎10/1に供用開始した西町公園にて、地元団体である「西町グラウンドゴルフ部」に管理を委託	達成	61	都市整備課
			● 新規に整備する公共施設での一定割合の緑地確保、街路樹及び公共施設内の緑地の適切な管理の実施	93	◎実績なし。	—	61	都市整備課
			● 公園、広場、文化施設、歴史公園、社寺などを結ぶネットワークの形成	94	◎実施進捗なし。	—	61	都市整備課
			● 緑化意識の高揚のため緑化イベント、緑化コンクール及び緑化木配布事業の実施	95	◎緑化木の無償配布事業 サンドフェスタ2017において配布 オリーブ500本	達成	61	都市整備課
			● 緑化の推進を図る生垣設置の奨励	96	◎生垣設置補助金を交付、 交付件数1件、 交付金額26,800円 ・稲沢市都市緑化推進事業補助金交付要綱に基づく民地内緑化 実績なし	達成	61	都市整備課
			● 花のある身近な環境づくりの推進	97	◎緑化木の無償配布事業 サンドフェスタ2017において配布 オリーブ500本	達成	61	都市整備課
		● 工場や事業所などにおける敷地内緑化の促進	98	◎工場・事業場等緑化計画協議 ・件数3件	達成	61	都市整備課	
		2) 良好な景観の保全・形成	● 天然記念物に指定された樹木、稲沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例で指定された保存樹、保存樹林の保全	100	◎保存樹186本 保存樹林118箇所 ・補助金869,000円	達成	62	都市整備課
			● 並木の植栽などによる魅力ある道路景観の形成	101	◎実施進捗なし。	—	62	都市整備課
● 遊休農地を活用した菜の花、レンゲ栽培などによる潤いのある景観づくりの推進	102		◎景観形成作物(菜の花等)の栽培をした。 菜の花 3,850㎡	達成	62	農務課		
3) まちの美化の推進	● 「稲沢市快適で住みよいまちづくり条例」に基づく地域環境の保全や美化への啓発、指導	103	◎路上喫煙禁止区域 路面標識、のぼり旗等 259,632円。 啓発看板(ごみ、支柱など)339,660円 路上禁止区域指定看板 81,000円	達成	62	環境保全課		

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課		
環境目標IV 豊かな風土を育む快適な環境の創造	(1) 快適な住環境の創造	3) まちの美化の推進	● 「ごみゼロ運動」を始めとした市民による環境美化活動の推進	104	◎地元有志団体・・・35団体 社会福祉法人・・・1団体	達成	62	都市整備課		
				104-1	◎春5月28日、秋10月15日前後の日曜日に実施 各地区環境委員会議で、実施の協力やチラシを配布。 市広報で参加の呼びかけを掲載。 参加者 37,295人 541区(行政区) 101団体(事業所)	達成	62	環境保全課		
				105	・活動人数計 16団体 計177人 ・活動日数計 176日 ・市広報及びホームページにアダプトプログラム参加者募集を掲載。(2月分)	達成	62	用地管理課		
				106	◎地元有志団体・・・35団体 社会福祉法人・・・1団体	達成	62	都市整備課		
				107	◎11グループ(地元住民の環境美化活動) 年12回実施	達成	62	地域振興課		
		4) 高齢者などに配慮した公共施設などの整備	● 既存の学校や公民館、公園などの公共施設におけるバリアフリー化の推進	108	◎公園・緑地等の整備において、バリアフリー化を基本に整備していく。 実績なし	—	64	都市整備課		
				109	◎バリアフリー便所の設置 市民球場便所増築工事 市民球場屋外便所 1箇所	達成	64	建築課		
				111	◎該当なし。	—	64	建築課		
				112	◎実績なし。	—	64	高齢介護課		
				● 老人福祉施設やケアサービス付き市営住宅などの整備	112-1	◎実績なし。	—	64	高齢介護課	
					112-2	◎該当施設なし	—	64	建築課	
				● 住宅融資などの各種助成制度を活用した高齢者などへの民間施設における対応の促進	113	◎希望者に資料「知って良かった住まいの知識」を窓口で配布し情報提供。	達成	64	建築課	
					113-1	◎実績なし。	—	64	高齢介護課	
				● 鉄道事業者に対して、旅客施設などのバリアフリー化の実現に向けた取組の啓発	114	◎該当なし。	—	64	用地管理課	
				5) 環境に配慮した住環境の形成	● 土地区画整理事業などの面的整備による良好な宅地供給の確保	115	◎施行地区(稲沢西・下津陸田)の建物移転・道路築造・造成工事・公共施設整備の事業を進め、宅地供給を図ることができた。(稲沢西3,240㎡ 322,733千円 下津陸田 完了 合計3,240㎡ 322,733千円)	達成	64	都市整備課
						116	◎様々な手法も視野に入れながらまちづくり実現に向け、地権者と交渉継続中。 古川新田・杵上地区については、平成23年度に当時の区画整理課により集落地区(法立、西光坊)にまちづくりに関するアンケート調査・地元説明会を実施。住民の意見はまとまっておらず、現在は関係地主からの動向を見極めている。	達成	64	都市計画課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課		
環境目標Ⅳ 豊かな風土を育む快適な環境の創造	(1) 快適な住環境の創造	5) 環境に配慮した住環境の形成	● 地区計画、緑地協定、まちづくり協定などを活用した地域の個性を生かした良好な住環境の整備	117	◎該当なし。	—	64	都市整備課		
			● 生活排水の適正な処理や省資源・省エネルギー化、リサイクルなどに配慮した環境負荷の少ない住宅建設に関する助成制度などの情報の提供	118	◎希望者に資料「知って良かった住まいの知識」を窓口で配布し情報提供。	達成	64	建築課		
			● 日照や通風の確保、過密した住宅立地状況の改善、接道不良の解消などの促進	119	◎該当なし。	—	64	建築課		
			● 公営住宅などでの自然エネルギーの活用・廃棄物のリサイクルなどに配慮した環境共生住宅の建設の検討	120	◎該当なし。	—	64	建築課		
	(2) 歴史的・文化的資源の保全	1) 文化財の保護	● 文化財保護法などに基づき指定された史跡や天然記念物などの文化財の適正な維持管理の支援	121	◎国・県・市指定文化財の維持管理について文化財所有者連絡協議会に委託し、文化財保護管理を実施した。 市指定文化財の保存修理2件実施した。 文化財保護審議会…会議3回開催	達成	66	生涯学習課		
			● 文化財の保護の促進	122	◎第二段階の追加指定に向けて総括報告書（Ⅱ）作成のための資料作成を行った。	達成	66	生涯学習課		
		2) 郷土の歴史・文化の継承	● 市内に点在する歴史的・文化的資源の保全・活用	123	◎業者の開発行為に対する届出に基づき、立会い調査を行った。未指定文化財の調査を実施した。 届出件数…249件 立会い調査件数…48件	達成	67	生涯学習課		
			● 文化財講座、文化財公開デーなど、市民が参加できる文化財行事の拡充	124	◎文化財講演会：年1回 9月30日 受講者延64人 歴史講座：年3回 11月4日～12月23日 受講者延181人 古文書講座：年5回 5月16日～7月11日 受講者延144人 文化財公開デー：年1回 5月7日 入場者延104人 稲沢の文化財展：年1回10月7日～10月22日入場者延272人	達成	67	生涯学習課		
			● 文化財を紹介する文化財パンフレットの発行	125	◎実績なし。	—	67	生涯学習課		
			● 文化財の愛護を支える文化財愛護少年団やボランティアの育成	126	◎文化財愛護少年団…年13回 入団者63人 参加人数…延397人 文化財ノートを、市内の小学3年生に配布した。文化財ボランティアガイドを実施した。	達成	67	生涯学習課		
			● 各地域に伝わる伝統芸能や無形文化財の保存・継承の促進	127	◎日下部太鼓保存会、木遣音頭保存会にそれぞれ委託し、次世代養成等、保存・継承に努めた。	達成	67	生涯学習課		
		環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(1) 公害の防止	1) 大気汚染の防止	● 大気汚染物質の状況などについての実態の把握	128	◎光化学オキシダント(Ox)を除き、二酸化窒素(NO ₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質(PM _{2.5})の3項目で環境基準を達成。二酸化硫黄(SO ₂)は、平成15年度、一酸化炭素(CO)は平成22年度から測定なし。光化学オキシダントについては、県下の測定局すべて環境基準を達成しなかった。	達成	69	環境保全課
					● 「稲沢市快適で住みよいまちづくり条例」に基づく野焼きの防止や焼却炉の適正な使用についての啓発	129	◎チラシ・市広報等を配布して野焼きの禁止や焼却炉の適正な使用の啓発を行った。環境委員会議でチラシを配布し、地域で回覧等の協力を依頼した。市広報、ホームページに掲載。	達成	69	環境保全課
● 公用車のアイドリング・ストップの遵守とエコドライブの推進	130				◎年間を通じて機会のあるごとに周知徹底に努めた。	達成	69	環境保全課		

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(1)公害の防止	1) 大気汚染の防止	● アイドリング・ストップの周知のための措置(看板など)や急発進・急加速の自粛の啓発	131	◎大気汚染防止、温暖化防止対策、省エネ等の観点からホームページを利用し啓発に努めた。	達成	69	環境保全課
			● 公共事業などの建設作業に伴う大気汚染防止対策の徹底	132	◎工事契約後、施工計画書作成時に環境配慮の施工をする計画の指導をすると共に作業時にも計画の遵守を指導した。実績 2件	達成	69	農務課
				133	◎低騒音型機械を使用し、生活環境の保全に努めた。	達成	69	土木課
				134	◎現場を巡回するとともに、実施状況の確認をし、請負業者にアイドリングストップの徹底に努めた。	達成	69	都市整備課
				135	◎工事設計において、低公害型の建設機械を計上、施工においても使用している。	達成	69	都市整備課
				136	◎施工業者に低公害車の使用ほか環境汚染について指導した。	達成	69	建築課
				137	◎各工事毎に協議の中でアイドリングストップの要請を行なった。また、設計により低公害の建設機械を用いた積算により低公害の建設機械の使用の誘導を行なった。	達成	69	下水道課
				138	◎施工計画書で建設機械の使用計画表を提出させ、排ガス対策型を使用することを確認し、工事現場においても実施した。	達成	69	水道工務課
				● 工場や事業所などにおける大気汚染防止の啓発	139	◎市ホームページにて啓発 12月の「大気汚染防止推進月間」にちなみ、ホームページで事業所等における身近な事業活動のなかで取り組める事項を周知啓発するなど、その実行の協力を呼びかけた。	達成	69
			● 交通渋滞の緩和に向けた幹線道路の整備と鉄道との立体交差化の促進	140	◎関係機関との調整に時間を要したため、次年度の実施とすることとした。	未達成	69	土木課
			● 交通渋滞の緩和に向けた幹線道路の整備の促進、鉄道との立体交差化による道路構造の改善の促進	141	◎各路線とも地元及び関係機関と円滑な調整に努め、年間事業計画を順調に遂行した。 ・事業費(H29決算) 工事請負費 142,167千円 用地取得費 22,951千円 移転補償費 16,486千円	達成	69	都市整備課
			● 地球温暖化や大気汚染を軽減するため、コミュニティバスの推進及び鉄道駅周辺でのパーク・アンド・ライドの検討	142	◎利用状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日) 稲沢中央線アピタ稲沢店系統 ……97,366人 ・祖父江-稲沢線…39,361人 ・下津-大里東線… 8,854人 ・大里西線 …… 10,053人 ・千代田線 … 13,733人 ・平和線 ……6,351人 ・コミュニティタクシー… 103人 運行管理委託 76,163千円	達成	69	地域振興課
				143	◎実施進捗なし。	—	69	都市計画課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標V 安心して暮らせる地域社会の確立	(1)公害の防止	2)水質汚濁の防止	● EM菌を利用した水質浄化活動などによる市民への生活排水対策の啓発	144	◎毎週、稲沢北小学校の1tタンクによりEM活性液を培養し、1週間かけて三宅川に投入した。また、家庭からの生活排水の改善を推進するため、稲沢市民センター等にEM活性液配布用タンクを設置して市民へ配布し、意識の高揚に努めた。(黄金橋)pH6.9 DO5.6 BOD11 SS12	達成	70	環境保全課
			● 天ぷら油の回収制度などによる生活排水対策の推進	145	◎地域ステーションにおいて使用済み天ぷら油を回収した。また、市役所ほか公共施設に回収ボックスを設置し、回収促進を行い、分別収集における試行回収箇所を募集し回収を開始した。 回収場所 地域ステーション 10か所 公共施設 11か所 分別収集 8カ所 回収した廃食用油は売却 決算額 (リサイクル資源売却収入) 158,283円(4,580kg) 382kg/月	達成	70	資源対策課
			● 日光川上流流域下水道事業計画に基づく公共下水道事業の整備	146	◎稲葉、小沢、日光川堤防(西光橋)地区の市街化区域の下水道整備、稲沢西土地区画整備事業に併せた下水道整備、高御堂地区、井堀地区の下水道整備を進めた。 総事業費830,849千円(438,000千円を平成30年度繰越)	達成	70	下水道課
			● 公共下水道事業の促進	147	◎戸別訪問等により啓発した。各行事(下水道の日9/10、消費生活展10/15)を利用して水洗化のPRをした。普及啓発品 マンホールカード 2,000枚 38千円	達成	70	下水道課
			● 公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティプラントが整備されない地域における合併処理浄化槽の設置の補助	148	◎市広報4月号及びホームページ掲載 ・5人槽(転換) 8基 2,656千円 7人槽(転換) 8基 3,312千円 10人槽(転換) 1基 548千円 計17基 6,516千円 ・5人槽(新築等) 115基 19,090千円 7人槽(新築等) 56基 11,592千円 10人槽(新築等) 10基 2,740千円 計181基 33,422千円 198基 39,938千円(撤去費除く) 撤去 630千円	達成	70	環境保全課
			● 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の補助などを通じた水質向上の促進	149	◎単独処理浄化槽撤去補助実績 6基(既設住宅) 2基(新築・増改築) 市広報(4月号)及びホームページ掲載し啓発した。	達成	70	環境保全課
			● 公共事業などの建設作業に伴う水質汚濁防止対策の徹底	150	◎工事施工現場から発生する産業廃棄物は施工前にその処理方法を明示させ、計画通りに処理したかはマニフェストで確認をした。実績 2件	達成	70	農務課
				151	◎施工計画書を確認し市民の生活環境保全等に照らし合わせ指導をした。	達成	70	土木課
				152	◎建設現場において、請負業者に適切に指導を行った。	達成	70	都市整備課
				153	◎タンク等で、土砂沈殿させてから排水を行った。	達成	70	都市整備課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(1)公害の防止	2)水質汚濁の防止	●公共事業などの建設作業に伴う水質汚濁防止対策の徹底	154	◎建設作業時の水質汚濁について、施工業者への指導を実施し、適正に工事完了した。	達成	70	建築課
				155	◎施工計画書の提出時に内容確認し、指導した。	達成	70	下水道課
				156	◎建設作業時において、地下水等を排水するにあたり、沈砂タンク等を設けて泥分を沈殿させて放流するように実施した。	達成	70	水道工務課
			●工場や事業所などにおける水質汚濁防止の啓発	157	◎特定施設工場を対象に年3回、水質調査を実施。すべての排水基準に適合。調査は(7、11、1月)、調査結果を送付し事故等未然防止の啓発をした。事業費321,840円	達成	70	環境保全課
				158	◎「尾張西部環境保全連絡協議会」で一斉水質調査を年2回(6月14日、12月6日)実施した。15地点中14地点において環境基準を達成。負担金19,590円	達成	70	環境保全課
				3)土壌汚染の防止	●工場や事業所などにおける土壌汚染防止の啓発	159	◎尾張県民事務所との連携により、地下水及び土壌汚染の情報を把握し、迅速な対応に努めた。	達成
		●農薬や肥料による農地の土壌汚染防止の啓発	160		◎減農薬、有機肥料栽培の特別栽培米の推進に努めた。栽培面積170,653㎡	達成	71	農務課
		4)騒音・振動の防止	●工場や事業所などにおける騒音・振動の発生防止に向けた啓発	161	◎ホームページ等で特定工場等の届出義務、規制基準の遵守を周知し、防音、防振対策の取組等を啓発した。特定施設設置等届受理件数85件 特定建設作業実施届受理件数820件	達成	71	環境保全課
				162	◎ホームページ等で特定建設作業等の届出義務、規制基準の遵守を周知した。特定建設作業実施届受理件数820件	達成	71	環境保全課
			●ペットの鳴き声やテレビなどの生活騒音、営業騒音の発生防止に向けた啓発	163	◎ペットの適正管理飼養についてホームページで啓発するとともに、苦情等については県動物保護管理センターの協力を得るなど、解決に努めた。営業騒音については、個別指導のもとに苦情の解決や抑制に努めた。	達成	71	環境保全課
			●不要な空ぶかしや急発進・急加速の自粛などによる自動車騒音の低減化の促進	164	◎大気汚染防止・温暖化対策・省エネ等の観点からホームページを利用し、啓発に努めた。	達成	71	環境保全課
			●道路交通騒音・振動の状況などについての実態の把握	165	◎騒音規制法に基づく自動車騒音の常時監視を実施した。 ・監視測定1地点 給父清須線(福島町～中之庄町の区間の附島町にて)。測定場所3か年のローテーション	達成	71	環境保全課
			●道路の平坦性の確保などによる道路交通騒音・振動の発生の抑制	166	◎舗装打換え工事を実施した。 幹線市道舗装工事13件 242,568,000円 一般市道舗装工事14件 71,734,422円	達成	71	土木課
				167	◎現場採取土から適切なセメント添加量を決定し、路床の安定処理を行った。また、舗設時においては、平坦性の確保に努めることを請負業者に指導するとともに、各種試験(プルフローリング試験、平坦性試験)を行うことで適正な管理に努めた。	達成	71	都市整備課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(1)公害の防止	5) 悪臭の防止	● 悪臭物質の排出に関する規制基準の遵守に向けた指導	168	◎悪臭関係対象工場等に届出義務を实践させ、悪臭防止法による規制基準の遵守及び排出物質等の事業者の再認識と、苦情等に対し適切かつ迅速な対応をすることなどの啓発を行った。届出件数 4件	達成	72	環境保全課
			● 日常生活における不適正な焼却に伴う悪臭の発生抑制	169	◎環境委員会等でのチラシの配布や広報等への「不適法な焼却炉による焼却の禁止」を掲載するなどにより、周知・啓発等に努めた。	達成	72	環境保全課
			● 工場や事業所などにおける悪臭の発生防止に向けた指導	170	◎主要製造事業所に対し事業活動に伴う悪臭物質の管理や施設の改善、苦情解決へのアドバイス等を実施した。	達成	72	環境保全課
			● 浄化槽の適正管理による悪臭の発生防止の指導	171	◎広報やホームページ等により浄化槽の適正な管理について周知、啓発に努めた。広報掲載 (4月)	達成	72	環境保全課
		6) その他の公害の防止	● 環境保全のための公害パトロールの実施	172	◎「稲沢市さわやか隊支援員」により公害パトロールを実施して公害の未然防止に努めた。	達成	72	環境保全課
			● 日照・騒音・交通対策などに配慮した開発事業の実施に向けた指導	173	◎宅地開発事業計画承認 18件	達成	72	建築課
				174	◎工場の新增改築時に「工場等新增・改築計画書」を提出させ、公害防止対策を徹底し、公害発生の未然防止に努めた。	達成	72	環境保全課
			● 企業の進出時に公害防止計画書を提出するよう指導	175	◎新たに進出する1,000㎡以上の事業所に対し、公害を未然防止し良好な地域環境を確保するため建築課と連携のもとに「工場等(増・改)公害対策計画書」の提出を求めた。	達成	72	環境保全課
			● 広報などによる光害対策の啓発	177	◎夜間の照明が大気中の分子、ちりやほこりにあたることによる光散乱現象、安眠妨害、農作物の生育不良などを防止するとともに、エネルギーの浪費、地球温暖化の要因にもなることから、照明の適正使用の周知啓発のチラシを配架した。	達成	72	環境保全課
			● ダイオキシン類、PCBを始めとした有害化学物質やPRTR制度についての情報の収集と提供	178	◎ポスターの掲示により啓発等を実施した。	達成	72	環境保全課
	(2)災害に強いまちづくりの推進	1) 防災体制の確立	● 災害時の地域防災計画に基づく避難体制、情報伝達体制などの総合的な防災体制の確立	180	◎8月26日稲沢中学校、大里中学校、祖父江中学校で南海トラフ巨大地震を想定した総合防災訓練を実施。住民や関係機関等との連絡体制を深めるため実働訓練を実施した。実働訓練は、クロスロードゲーム、炊き出し訓練、物資輸送訓練等を行い、住民・関係機関等約780人が参加した。	達成	74	危機管理課
			● 防災ガイドブックやホームページなどでの防災意識の啓発	181	◎地域防災計画については、見直しを図った。家具転倒防止補助金は申請が8件あった。その他、防災啓発冊子を購入し、出前講座等で市民講座等で市民に配布したりホームページの内容を見直した。 ・啓発用冊子 400千円 ・家具転倒防止補助金8件 33千円	達成	74	危機管理課

環 境 目 標	中 位 目 標	取 組 の 区 分	取 組	取組番号	実 績	達成度	掲載頁	担 当 課
環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(2)災害に強いまちづくりの推進	1) 防災体制の確立	● 自主防災組織への資機材や訓練に対する補助	182	◎・自主防災組織発会交付資材 98千円、・自主防災訓練補助金 4,158千円、消防施設設置補助金 2,296千円。粉末消火器 513千円、消防用ホース 632千円、小型動力ポンプ 334千円、防災倉庫 459千円、資機材 357千円	達成	74	危機管理課
			● 災害ボランティア団体との連携強化	183	◎自主防災訓練に参加いただくとともに、自主防災組織が行う防災訓練や各家庭が行う家具転倒防止器具等の取り付けに協力していただくなど、市及び防災組織とボランティア団体との連携強化が図れた。	達成	74	危機管理課
			● 災害に係る一般廃棄物処理マニュアルに沿った対応	184	◎県の災害廃棄物処理計画の見直しについては、平成28年度に発表となった。また、県主催の災害廃棄物に係る研修会が実施され、見直し後の発生子測量・仮置き場必要面積等を算定について知見を得た。	達成	74	資源対策課
			● 災害協定の啓発・締結	185	◎西尾張14市町村(一宮市、津島市、犬山市、江南市、岩倉市、愛西市、弥富市、あま市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村)、社会福祉法人13団体(愛知泉福祉会、愛知県厚生事業団、亀泉会、薫風会、西光寺福祉会、信篤会、常照会、梅檀福祉会、祖父江愛照会、千代田会、附島福祉会、芳徳会、明治福祉会)、郵便局(稲沢郵便局、下津郵便局)と災害協定を新たに締結した。	達成	74	危機管理課
		2) 防災施設などの整備	● 食料・応急資機材などの防災備蓄倉庫の整備、避難所となる小・中学校施設、公共施設などの整備・充実、防災行政無線システムの整備などの推進	186	◎非常食 4,017千円 飲料水 3,810千円 物資 782千円 資機材 12,650千円	達成	75	危機管理課
			● 公園・緑地などのオープンスペースの確保、緊急活動を支える幹線道路の整備、河川改修などによる災害に強い都市構造の形成	187	◎国庫補助を充当し工事を着手した。(平成30年度へ2件繰越) 工事5件	達成	75	土木課
				188	◎各路線とも地元及び関係機関と円滑な調整に努め、年間事業計画を順調に遂行した。 事業費(H29決算) 工事請負費 142,167千円 用地取得費 22,951千円 移転補償費 16,486千円	達成	75	都市整備課
			● 地震による住宅被害の軽減を図るための耐震診断や耐震補強などの支援	189	◎ ①民間木造住宅耐震診断事業 43棟 診断実施 1,990.9千円 ②住宅耐震化事業 (1)木造及び非木造住宅耐震改修 11戸 11,000千円 (2)段階的耐震改修 1戸 600千円 (3)木造住宅耐震シェルター整備 2戸 600千円 (4)非木造住宅耐震診断 0戸 0千円 (5)木造住宅除却 1棟 200千円	達成	75	建築課
			● 駐車場・歩道などの透水性舗装や雨水地下浸透施設の整備の促進	190	◎雨水貯留施設の基本設計を行った。	達成	75	土木課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課		
環境目標Ⅴ 安心して暮らせる地域社会の確立	(2) 災害に強いまちづくりの推進	2) 防災施設などの整備	● 災害時に避難所となる小中学校施設や公共施設などの耐震補強工事の実施	191	◎該当なし。	—	75	建築課		
				192	◎診断業務委託契約実績 清水小始め4校分 ¥3,956,040 下津水小始め4校分 ¥6,426,000 明治中、治郎丸中分 ¥7,232,760 ・診断の結果、小学校2校中学校1校は問題無いことが判明したが、7校11棟は耐震補強が必要なため、平成30年度予算に設計料を計上することとなった。	達成	75	庶務課		
	(3) 交通安全・防犯の推進	1) 交通環境の整備	● 交通事故や車両通行量などの分析による危険か所の点検、効果的な交通安全施設の整備の推進	193	◎H29年中の交通事故発生状況及び特徴を取りまとめて、市ホームページで周知した。	達成	76	総務課		
				194	◎危険な箇所等道路パトロール及び地区からの報告を受け安全対策を実施した。交差点で交通事故多発場所において、路面のカラー化を施工した。交通安全灯 19基 反射鏡 62基 カラー舗装工 1434㎡ 47,684,062円	達成	76	土木課		
				195	◎毎週木曜日、市内の迷惑駐車パトロールを実施 長期放置車両(29年度発見件数) 5件 対応状況 車両移動 5件、廃棄 0件 (警察署と連携し、長期駐車車両所有者へ移動指導)	達成	76	総務課		
				196	◎市内中、高、大学に自転車放置禁止区域のチラシを配布し、駐車自転車の減少に努めた。また、放置禁止区域に表示看板、路面シール等を設置した。放置禁止区域及び、稲沢市内にて、注意書及び自転車撤去を実施した。	達成	76	総務課		
				197	◎常時道路パトロールを実施し悪い箇所の路面補修を実施。また、住民からの要望により修繕を実施した。舗装修繕 157件	達成	76	土木課		
				197-1	◎実施せず。	—	76	総務課		
				197-2	◎利用状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日) 稲沢中央線アピタ稲沢店系統 ……97,366人 ・祖父江-稲沢線…39,361人 ・下津-大里東線… 8,854人 ・大里西線 …… 10,053人 ・千代田線 …… 13,733人 ・平和線 ……6,351人 ・コミュニティタクシー… 103人 運行管理委託 76,163千円	達成	76	地域振興課		
				2) 交通安全意識の高揚	● 交通安全指導員などによる交通安全指導及び交通安全教育の推進	198	◎交通安全教室では、低学年に対しては、歩行訓練を重点とし、高学年に対しては、自転車安全利用の訓練を実施した。市内に10園ある保護者による交通安全活動(カンガルークラブ活動)の支援を行った。	達成	77	総務課
						199	各季交通安全運動期間及び交通事故死ゼロの日において地域推進リーダーを始め、各種団体と連携し、交通安全活動を実施した。	達成	77	総務課
						200	◎平成30年2月21日に意見交換会を開催した。	達成	77	総務課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課	
環境目標V 安心して暮らせる地域社会の確立	(3)交通安全・防犯の推進	3)防犯体制の確立	● 防犯に関する危険か所の点検、防犯灯設置などの推進	201	行政区へ防犯灯設置費補助金 稲沢 971基 27,104千円 祖父江 229基 6,339千円 平和 317基 8,976千円 計 1,517基 42,419千円 蛍光灯等防犯灯からLED化された基数 1,331基	達成	77	総務課	
				202	◎防犯啓発活動を行い、啓発物品を配布した。 防犯一般啓発用品 2,030セット、自転車盗難防止啓発用品 1,120セット、振り込め詐欺防止啓発用品 720セット	達成	77	総務課	
				203	◎全小学校の平成30年度新1年生を対象に、防犯ブザーを配布した。(1,350個) 全小中学校において、校区の安全マップに「こども110番の家」を明記し、各家庭に配付した。 防犯ブザー(1,350個) 517,590円	達成	77	学校教育課	
				204	◎防犯協会への負担金1,587,000円を支出。防犯思想の啓発を防犯協会と共に実施し、犯罪の事前予防に努めた。	達成	77	総務課	
				205	◎各地区のまちづくり推進協議会長が稲沢市の防犯協会連合会の会議に参加。 定期総会 5月23日	達成	77	地域振興課	
環境目標VI 環境意識を向上させる活動の推進	(1)環境教育・環境学習の推進	1)環境教育の充実	● 小・中学校などでの身近な自然を活かした自然観察、学外講師の活用など「環境保全活動・環境教育推進法」に基づく環境教育の推進	206	・ 総合的な学習の時間 身近な環境について考え、環境づくりや環境保全への意識を高めた。 ・ 理科 身近な自然の観察や環境学習への活用 ・ 特別活動 環境保全のために、児童会主催のクリーンアップ作戦等の実施	達成	79	学校教育課	
				207	● 各種の環境学習や実践活動に取り組むこどもエコクラブの育成	・ 浄水場や環境センターの見学。 ・ 地域の環境調べ。 ・ 環境改善に向けたリサイクルの実践と啓発活動 ・ こどもエコクラブには、小学校1校(高御堂小)が継続して登録。	達成	79	学校教育課
					208	◎「こどもエコクラブ」への加入について、ホームページにて掲載。こども課・教育委員会へ依頼した。 年度末団体数 39団体 クラブ員 2,504人 サポーター 379人	未達成	79	環境保全課
				209	◎愛知県から送付される環境分野のパンフレット類を活用し、自然観察会参加者に配布した。学校教育分野での対応はなし。	未達成	79	環境保全課	
				209-1	● 学校教育での環境に関するカリキュラムの充実、副読本などの学校教材での環境分野の充実	◎環境センターや浄水場の見学を通して、ごみや下水に関する学習に取り組み、環境保全に対する意識を高めた。 ・小学校5年生の社会科「わたしたちの生活と環境」で、生活と環境について学習し、環境保護に向け実際に活動することの大切さの意識を高めた。	達成	79	学校教育課

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課			
環境目標VI 環境意識を向上させる活動の推進	(1)環境教育・環境学習の推進	2) 環境学習の推進	● 下水道科学館や稲沢市環境センターなどの施設見学、自然観察会、環境関連講座などの環境学習会の開催	211	◎リサイクル施設見学会の開催については実施を見合わせた。また、出前講座は2回実施し27人を対象に行った。また環境センター見学ごみ減量教室では、来訪した全校の生徒に対し、3Rの啓発、段ボールコンポストを使用した生ごみ減量を紹介した。	達成	79	資源対策課			
				212	◎自然観察会は、取組番号90のとおり「親子ふれあい自然教室」として実施した。 (参考)親子ふれあい理科教室 7月27日 小学生とその親13組27人参加	達成	79	生涯学習課			
				213	◎親子による自然観察会の開催 5月20日(土)、7月22日(土)、8月5日(土)10月7日(土) 参加者 158人	達成	79	環境保全課			
				215	◎該当なし。	—	79	資源対策課			
				216	◎「稲沢市さわやか隊」の活動などを通じ、環境問題に関心を持った地域のリーダーを育成した。稲沢市さわやか隊員2,445人(H29実績)	達成	79	環境保全課			
				● 環境に関する図書・ビデオなどの学習教材の充実	218	◎前年度に引き続き、教育現場に出前講座を周知するため、全小学校と保育園に案内したが、申込みには至らなかった。また、環境センター見学ごみ減量教室では、来訪した全校の生徒に対し、3Rの啓発、段ボールコンポストを使用した生ごみ減量を紹介した。	達成	79	資源対策課		
					219	◎図書館で実施。	—	79	環境保全課		
					(2)環境保全活動の推進	1) 環境に関する情報収集と提供	● タウンミーティング、市政世論調査、市民め～るなどを通じた市民からの幅広い情報収集	220	◎タウンミーティング、市民め～るなどを通して、市民からの幅広い情報収集に努めた。 ・タウンミーティング 消耗品費 0円 郵便料 0円 ・市民め～る等 郵便料 748円 ・市政世論調査(隔年) 消耗品費 0円 委託料 0円	達成	80
				221				◎寄せられた市民め～るに対応し、市民要望等の共有化を行った。	達成	80	資源対策課
				222				◎各種会議や市民め～る、世論調査等における要望、意見、提案を検討し、実施できるものは対応に努めた。	達成	80	環境保全課
	● 地域環境保全委員などの協力による地域環境の情報収集	224	◎稲沢市さわやか隊、環境委員、区長や県の地域環境保全委員などと協力・連携のもと、随時地域の環境情報の収集に努めた。年度当初に9地区で環境委員会を開催。また、地域環境保全委員会(県主催)に出席し地域の環境問題の把握等に努めた。	達成			80	環境保全課			

環境目標	中位目標	取組の区分	取組	取組番号	実績	達成度	掲載頁	担当課
環境目標VI 環境意識を向上させる活動の推進	(2)環境保全活動の推進	1) 環境に関する情報収集と提供	● 広報いなざわ、稲沢市ホームページ、ケーブルテレビによる市政ニュースなどを通じたわかりやすい環境情報の提供	225	◎広報いなざわ、稲沢市ホームページ、ケーブルテレビによる市政ニュースなどを通して、各種のわかりやすい環境情報の提供に努めた。 ・広報活動事業 広報いなざわ 18,003,409円 市政ニュース 9,556,876円	達成	80	秘書広報課
				226	稲沢CATV・クローバTVの市政ニュース番組を活用し、ごみ減量とリサイクルの推進を図った。 「ごみの分別」 (スプレー缶の正しい出し方等を啓発)	達成	80	資源対策課
				227	季節や時期に対応した環境問題を広報、ホームページを通じて提供した。 ごみゼロ運動、側溝清掃、ペットの飼養、浄化槽の補助・適正管理、農薬の適正使用、野外焼却の禁止、省エネ・省資源の啓発、地球温暖化対策、光害防止、空地の適正管理等。 「稲沢市快適で住みよいまちづくり条例」	達成	80	環境保全課
				228	◎段ボールコンポスト講座、エコ料理教室の実施にあたり、本庁・市民センター等でポスターやパンフレットの配布を行った。 また、支所・市民センターにおいて、生ごみ減量・段ボールコンポスト推奨の常時掲示を行った。	達成	80	資源対策課
				229	◎環境に関する啓発チラシ・ポスター等を本庁舎・市民センター等の公共施設の窓口等に配置し情報等の提供に努めた。	達成	80	環境保全課
				230	◎地域団体による環境美化、環境保全の取組などの地域活動をCATV「ふれあい通信」により紹介し、普及、推進に努めた。	達成	80	環境保全課
		2) 各主体の活動の推進	● さわやか隊活動の推進	230-1	◎さわやか隊一斉行動及び環境講演会を実施した。	達成	81	環境保全課
				231	◎引き続き環境配慮事務事業の推進に努めつつ、独自のマネジメントシステムを実施した。	達成	81	環境保全課
				232	◎ごみゼロ運動(春5月、秋10月～11月)市民センター7地区で、実施した。年2回EM菌による環境浄化 2団体	達成	81	地域振興課
						234	◎環境に関する市民グループと連携を図り、環境保全活動に係る事業に対し助成金の交付を行った。	達成
				235	◎稲沢市市民活動支援センターへの環境関係の登録団体数4団体	達成	81	地域振興課
						236	◎稲沢市市民活動支援センターの登録の推進に努めた。	達成
				● 環境に関する市民グループの実態の把握、顕彰制度などの支援策の検討	232	達成	81	地域振興課
						234	◎環境に関する市民グループと連携を図り、環境保全活動に係る事業に対し助成金の交付を行った。	達成
● 環境問題に取り組んでいる市民の稲沢市市民活動支援センターへの登録の促進	235	◎稲沢市市民活動支援センターへの環境関係の登録団体数4団体	達成	81	地域振興課			
		236	◎稲沢市市民活動支援センターの登録の推進に努めた。	達成	81	環境保全課		

環 境 目 標	中 位 目 標	取 組 の 区 分	取 組	取組 番号	実 績	達成度	掲載頁	担 当 課
環境目標VI 環境意識を向上させる活動の推進	(2)環境保全活動の推進	2)各主体の活動の推進	● 事業活動を行うにあたって配慮すべき環境情報の提供や環境への配慮事項の指導	237	◎事業活動に伴って情報提供等が必要な工場や事業所などがなかったため未実施。	—	81	商工観光課
				238	◎企業の進出や既存事業所の施設新增設時に、「工場等新(増・改)築計画書」の提出を求め、事業活動に伴う騒音、振動、悪臭等の公害の未然防止に努めている。	達成	81	環境保全課
			● 指導者や助言者の紹介などによる事業者の自主的な環境活動の促進	239	◎工場や事業所などを対象に、環境保全課等との連携により、環境保全の啓蒙には至らなかった。	未達成	81	商工観光課
				240	◎環境問題に取り組んでいる指導者の把握に努めた。	達成	81	環境保全課